

記入例

ビジネスコンテスト Morimoto2023 応募用紙

※画像や表の挿入、パンフレットやチラシの添付は可。

※文字数やフォントに制限はありませんが、簡潔に表現し、応募用紙を含め4枚以内にしてください。

※特許実用新案等の知的財産権、及び営業秘密等いかなるノウハウなどの情報の法的保護についても、
応募者の責任において対策を講じたうえで、一般に公表しても差し支えない内容でご提出ください。

※提出書類は返却いたしません。

■応募者の情報

事業所名	味処もりもと		
住所	〒920-3116 金沢市南森本町ホ 59-1		
電話・FAX	TEL258-0276 FAX258-0289		
担当者名	森本 一郎		
E-mail	morimoto@shoko.or.jp		
主な業種	飲食業		
従業員数	5名(代表者含む)	開業年	(西暦) 2016年

■自社の現状

自社の事業概要

(商品・サービスの内容)

昼はランチ、夜は居酒屋 昼夜ともに、お弁当の配達も実施

カウンター席：8席、4人テーブル席：2席、6人テーブル席：2席

(顧客層)

昼時のメイン顧客層：地元客&ビジネス客、夜時のメイン顧客層：地元客

(強み)

多くの地元客&ビジネス客がリピーターになっていただいております、売上げ及び来店客数は安定しています。

(課題や問題点)

従業員の入退社が頻繁に発生。従業員（正社員&アルバイト）が仕事を一通り覚えるまでに6か月程度かかり、その間、ベテラン従業員が新入社員の業務をカバーしなければならないことから、生産性は低い状態が継続している。これにより、ベテラン従業員の精神的且つ肉体的な負担が増大。このことが離職に繋がる主な要因の一つとなっている。

加えて、人手不足により、新たな従業員の確保は容易ではなく、新たな従業員の確保のためハローワーク等への求人登録手続きや民間就職情報誌への掲載料など手間やコストがかかっている。

■生産性向上に取り組んだ（以下、本プラン）内容

①本プランの名称（30文字以内）

食器洗浄機の導入により生産性を向上

②本プランに取り組んだ理由（取組みに至ったきっかけや経緯、差し迫って必要な理由等）

従業員の離職率が高く、生産性が低い状態が継続している。

機械のできる作業は機械で作業を行い、人が行わないと出来ない作業を従業員にしてもらうことで、生産性向上を図るとともに、従業員の精神面や肉体面の負担を軽減させることで勤労意欲を向上させたい。これにより、離職率を低下させることで、生産性を向上させ、持続可能な経営を実現させたい。

③本プランの具体的な実施内容

食器洗浄機を導入

④本プラン実施による具体的な成果・結果

●本プラン導入前

食器洗いは、毎日 50 分、従業員が洗っていた。250 皿×10 秒/日

●本プラン導入後

食器洗いは、毎日 2 分、特殊な形状等の食器のみ従業員が手洗い。

食器洗浄機の導入により、年間 240 時間（48 分＜50 分－2 分＞×300 日）の生産性向上が図れた。これにより、今後、従業員の離職率も低下すると考えている。

⑤独自性（設備投資・外部研修等をした際の自社独自の工夫点）

これといった独自性は特にない。

⑥困難性（これまで容易に取り組むことができなかった諸事情）

食器洗浄機導入にあたり 150 万円の投資が必要となっていたが、働き方改革推進支援助成金（100 万円の助成）の活用により、導入する決断ができた。

⑦顧客または従業員満足（お客様や取引先企業等からの評価、従業員の感想・喜びの声など）

●従業員の感想

食器を洗浄する作業が大幅に減少。その時間を他の業務にあてることができ、作業効率が改善。これにより、年休の計画的付与の導入・時間単位の年休の導入・新たな特別休暇の導入など働き方改革推進に取り組んでいただき有難く思っている。

■自由記載（当社の○年後のイメージ、森本への思いなど）

お年寄りや若者、いろいろな人が集まってワイワイできる場所を提供し、賑わいを創出する一助となれば嬉しい。また、高齢者も多い街なので、日々の交流を通して、安心・安全な街づくりの一端を担っていきたい。